

「働くという社会との接続体験を通じて学び、自立に向けた社会的生活力を身につける 生涯学習プログラムの開発と全国普及に向けたモデル化の実践研究」

1. 生涯学習プログラムの開発と実践 「“ハレ”の舞台上で他人の役に立つ喜び」を実践

スポーツやエンターテインメントのワクワク・ドキドキするような“晴れの舞台”において、“働く”“他者と関わる”という体験を通じて学び、社会の中で混ざり合いながら様々な経験を重ねることは、自らの新たな可能性を伸ばし、自立した豊かな人生を送るために必要な「社会生活力」を身につけるきっかけとなるのではないかと。

この仮説に基づき、働くという社会との接続体験を通じて学び、自立に向けた社会的生活力を身につける生涯学習プログラムとして「就労体験」を実践中。

川崎市内において、行政・企業・団体・スポーツチーム・福祉事業所・特別支援学校などと連携し、Jリーグ・Bリーグなどのスポーツや、映画・音楽などのエンターテインメント系のイベントなどで実施をしています。



実施企画数 : 37企画
 参加者数 : 299名
 障害属性 : 知的障害 27%、身体障害 6%、精神障害 40%
 発達障害 11%、手帳なし(ひきこもり等) 20%

実施自治体 : 川崎市
 参加事業所数 : 31事業所
 実施ゲーム/イベント(場所) :
 Jリーグ 川崎フロンターレ(等々力陸上競技場)
 Bリーグ 川崎ブレイブサンダース(とどろきアリーナ)
 ロックフェス「BAYCAMP」(川崎市東扇島東公園)
 イベント「かわばら2019」(ラゾーナ川崎)
 イベント「カワサキハロウィンパレード」(川崎駅周辺)
 イベント「からだで聴こう音楽会」(麻生市民館他)

2. 全国普及に向けたモデル化 複数都市での展開モデルを構築

プログラムはDCPA(Do・Check・Plan・Action)を短期サイクルで回しながら、プログラムの実践・アップデート、データの分析・解析・検証を繰り返し、当プログラムの実施体制をマニュアル化・モデル化を目指しています。それらの実践・テストとして、川崎以外の地域でも、行政・企業・団体・福祉事業所と連携して以下4地域にてプログラムを実施しました。



実施企画数 : 15企画
 参加者数 : 64名
 参加事業所数 : 22事業所
 実施地域(ゲーム/イベント@場所) :
 島根県益田市(プロレス団体ZERO-1ツアー@益田市民体育館)
 神奈川県横浜市(Jリーグ横浜FC@ニッパツ三沢競技場)
 東京都港区(就労支援フォーラム@品川インターシティ)
 東京都新宿区(ダイバーシティパーク@新宿中央公園)

3. 学びの成果の見える化 定量データを収集/分析

障害者の自立を支援する「社会生活カプログラム」の各達成目標やモジュールと照らし合わせながら、独自のアンケートを作成。行政や福祉事業所の協力を元に、プログラム毎に参加者と支援員様へのアンケートを実施。また、株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリと協働して「幸福度調査」も実施し、当プログラムがもたらす学びの成果の見える化、定量化を目指しています。

< 社会生活カ学習度アンケート調査・検証結果 >

参加者146名、支援員様81名のアンケートの調査結果からは、参加した障害当事者の方々に、以下の学びがあることがわかった。

- ・生活の基礎部分 — 健康管理、食事の管理、セルフケア、時間管理、安全・危機管理
- ・自分の生活を作る — 金銭管理、衣類管理
- ・自分らしく生きる — コミュニケーションと人間関係、自身の障害への理解
- ・社会に参加する — 情報、外出、働く

< 幸福度調査・検証結果 >

・幸福度調査のレーダーチャートが経時変化しており、プログラム参加を重ねることで、「意識の変化」が見えた
 ・プログラム開始前に目標を決める「チャレンジ取組」の状況と、幸福度の変化に関係性がある可能性が見えており、「達成感」が幸福度につながっている可能性がある。

4. 連携協議会の開催 全国展開を見据えた議論が白熱

様々な属性のメンバーにご参加いただき、当プログラムを通じて、働くという社会との接続体験が、どのような効果的な学びや、自立に向けた社会生活力を身につけることに繋がるかを、多角的に検証しています。またプログラムの実施を通じて、より効果的・効率的な実施と連携の体制の構築や、全国展開を見据えた議論を重ねています。

< 実施日 >

第1回 : 2019年10月30日
 第2回 : 12月4日
 第3回 : 2020年2月4日

< 参加者 >

川崎市 健康福祉局 障害者雇用・就労推進課
 公益社団法人 日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)
 株式会社 川崎フロンターレ
 株式会社 DeNA川崎ブレイブサンダース
 株式会社 富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
 株式会社 ゼネラルパートナーズ
 特定非営利活動法人 日本セルフセンター
 株式会社 LITALICO
 社会福祉法人 泉央福祉会
 社会福祉法人 電機神奈川福祉センター
 社会福祉法人 青い鳥

5. 成果報告会の実施 次なる成果報告会企画も準備中

2019年9月に文部科学省と共催で、「超福祉の学校2019 ~障害の有無をこえて共に学び、つくる共生社会フォーラム~」を東京都渋谷区にて開催。その中で「わくわくする仕事づくり。就労体験プロジェクト」と題し、成果報告会を行いました。



日時 : 2019年9月7日(土) 13:30-15:00

場所 : 渋谷キャスト GFスペース

登壇者 : 鈴木 順(公益財団法人 日本プロサッカーリーグ)
 葛谷 将司(株式会社DeNA川崎ブレイブサンダース)
 平井 恭順(川崎市障害者雇用・就労推進課)
 須藤 シンジ(NPO法人ピープルデザイン研究所)